

交差点で追突され、対向車線で別車両と衝突、後日死亡

- ☆ 平成19年6月5日午前11時20分ころ、大衡村の国道4号で交通事故が発生しました。
 - ☆ 地場建設店社の社員二人が軽自動車に乗り、交差点で右折しようとして停止していたところに、大型貨物が追突、はずみで軽が対向車線へ飛び出し、対向車(中型貨物)と正面衝突しました。
 - ☆ この事故で、軽を運転していたAさん(30歳)と助手席に同乗していたBさん(23歳)の2名が重傷を負いました。
- 残念ながらBさんは、6月8日に死亡しました。Aさんは重傷ですが、生命に別状はなさそうです。

これで、平成19年の死亡災害は3名となりました。

6月6日 河北朝刊

■多重事故で1人重体
五日午前十一時二十分
ころ、大衡村大衡座府の
国道4号で、右折しよう
と停車していた同村大衡
河原、会社員三浦慎さん
(三〇)の軽自動車に、大型
トラックが追突、軽自動
車はずみで対向車線に
はみ出して中型トラック
と正面衝突した。この事
故で、三浦さんは頭を強
く打って大けが、三浦さ
んの助手席に乗っていた
色麻町四釜二反田、会社
員早坂敦さん(三三)が全身
を強く打って意識不明の
重体。中型トラックの運
転手にけがはなかった。
大和署は業務上過失傷害
の現行犯で、大型トラッ
クを運転していた仙台市
青葉区高松三丁目、運転
手浅野直樹容疑者(三三)を
逮捕した。

- ☆ 本件は、完全なもらい事故でした。筆者(建災防宮城県支部)としては効果的な再発防止策は提示できかねるものですが、参考までに、以下の点を記載します。
- ・ 企業によっては、できるだけ追突されることを減らすため、自車の存在を後続車に知らせるよう努めるとするものもあります。つまり、後続車が接近したとき、ポンピングブレーキのようにブレーキランプを点滅させるというものです。
- ・ 本件追突車は運送業者と聞いています。会員各位には、せめて本件のような事故の加害車には絶対にならないよう、過労運転防止、前方注視、早めブレーキ等に努めましょう。

- ★ 今年は梅雨時期にも暑い日が続いています。
早めに熱中症対策を講じましょう。